

『クレオ ニュース配信サービスのご案内』

当社では、投資家の皆様に向けてより迅速に情報をお送りするため、メール配信サービスを行っています。

メール配信サービスでは、IRニュースを中心としたクレオのニュースをいち早くe-mailでお届けします。

メール配信ご希望の方は、クレオのホームページよりご登録ください。



<http://www.creo.co.jp>

ホームページ上でもIR情報を公開しています。

株式会社クレオ

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番22号

TEL.03-3445-3500 (大代表)

FAX.03-3445-3505

■ 株主メモ

決 算 期	3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当金(毎年9月末日) <small>※なお中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日</small>
定 時 株 主 総 会	6月
基準日(定時株主会関係)	3月31日
株主名簿管理人事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
連 絡 先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-707-696
事 務 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載	当社ホームページ http://www.creo.co.jp

ecreo

株主通信

第35期報告書

2007年4月1日 ▶▶ 2008年3月31日

トピックス TOPICS	02
株主の皆様へ MANAGEMENT MESSAGE	03
セグメント別の概況 SEGMENT INFORMATION	04
連結決算のご報告(要約) FINANCIAL STATEMENTS	06
決算のご報告(要約) FINANCIAL STATEMENTS	08
会社の概況/株式情報 CORPORATE DATA	10

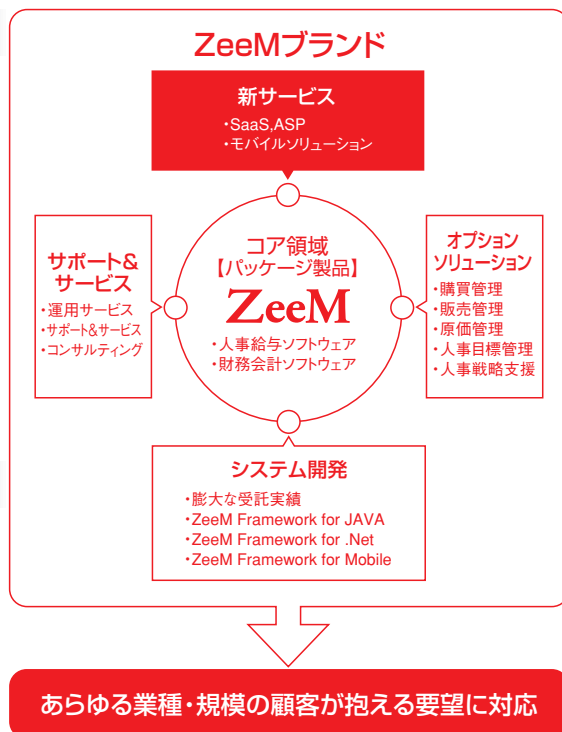
株式会社クレオ

ZeeMブランドの確立

「ZeeM(ジーム)」のブランド構築・認知向上に努めています。
 「ZeeM」は当社のビジネスパッケージ「CBMS」につけられた製品名に由来し、会計・人事給与の法人向けパッケージ製品としてスタートしました。その後、2007年に法人向け事業ブランドを「ZeeM」に統一し、購買、原価管理などビジネスプロセス向けのオプションソリューション、Java、.Netなどを使ったシステム開発、各種サポート&サービスなどへと範囲を広げてきました。
 「ZeeM」Newコンセプトの「zest for your smile」=「あなたの笑顔への熱意」を旗印に、「筆まめ」に並ぶブランドへと育成し、クレオグループの企業価値向上に努めていきます。

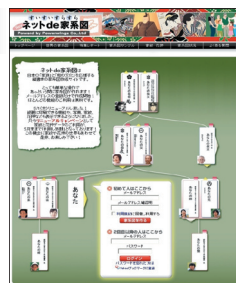
ポータルサイト、SaaS、モバイルソリューションを展開

2008年4月、株式会社ワイズノットからビジネスとITのためのポータルサイト「NEXTWISE」の運営を引き継ぎ、ポータルサイト事業を開始しました。今後は、「NEXTWISE」と「筆まめ online」との連携、会計・人事給与ソリューションの「ZeeM」のSaaSによる提供なども視野に入れ、個人向けから企業向けの広い範囲でサービスを提供していきます。

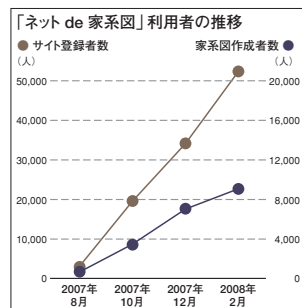


家系図を簡単に作成できるサイトをオープン

当社の連結子会社である株式会社パワーウィングスがWeb上に、簡単な操作のみで家系図を作成できる「ネットde家系図」を開設しました。2007年8月のテストオープン以来、30代~50代を中心に登録者が急増し、2008年2月には5万人を突破。利用者はパソコンの使用ができ、和への関心が高く、顧客層が重なる当社の「筆まめ」との相乗効果が期待できます。



「ネットde家系図」ホームページ



代表取締役社長
土屋 淳一

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2008年3月期の株主通信をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。
 当社の属する情報システム業界においては、景気の先行き不透明感のなか企業間競争が一段と激化しており、求められる提案内容の高度化・多様化に加え、品質・価格等に対するお客様の要請の高度化への対応等、依然厳しい状況が続いております。
 このような状況のもとクレオグループは、当期よりモバイル事業を新たに加え、本格的にモバイル事業へ参入してまいりました。また、その他事業においては新たにシニア世代向けの市場開拓を進めるなど、市場環境

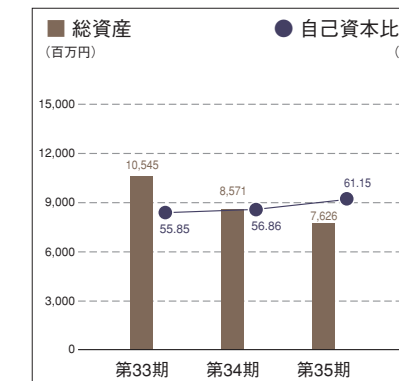
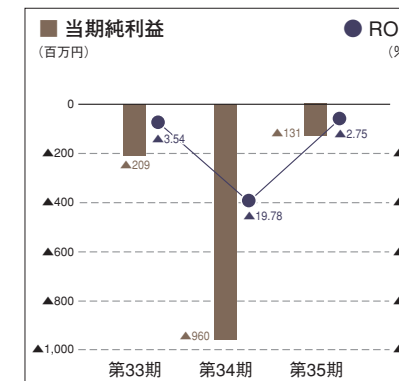
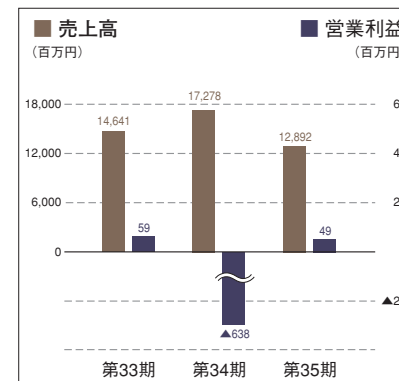
に対応するために事業の成長を図ってまいりました。これらを含め収益力向上に向け努力してまいりましたが、中央システム(株)の連結除外や一部不採算プロジェクトによる影響もあって、前期に比べて利益では改善したものの売上高は減少しております。

以上の結果、当期の業績は売上高128億92百万円(前期比25%減)、営業利益49百万円(前期は営業損失6億38百万円)、経常利益42百万円(前期は経常損失6億91百万円)、当期純損失1億31百万円(前期は当期純損失9億60百万円)となりました。

期初には当期の黒字化を目標に掲げ、最後までグループを上げて努力を重ねたにもかかわらず、まことに遺憾ながら4期連続の赤字という大変残念な結果となりましたことを株主の皆様には深くお詫び申し上げます。当期の状況を真摯に受け止め、以下の施策(①経営環境の変化に柔軟に対応できる組織変更、②各関係会社との連携強化、③システム開発事業における不採算プロジェクトの防止、④ZeeM事業におけるパッケージの品質維持とソリューションの拡充によるワンストップソリューションの推進、⑤社員の技術・セキュリティ教育強化、優秀な人材登用及び育成、⑥内部統制・コンプライアンス活動の推進と向上)を通じて、今後当社が抱えている様々なリスクと課題を克服すべくグループ一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

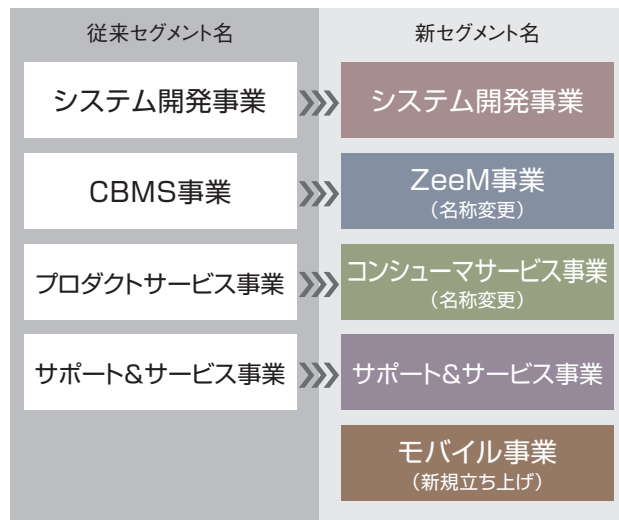
2008年6月

財務ハイライト



セグメントの変更のお知らせ

当期から、事業再編によりセグメントの変更を行っております。



システム開発事業

特定分野向けの営業深耕と新規チャネルの開拓および受注管理の徹底で、利益率の向上を推進

当事業におきましては、中央システム(株)が連結除外になったこと、また当期に発生した不採算プロジェクトの影響により、売上・利益ともに減少しております。その結果、売上高は51億53百万円(前期比54%減)、営業利益は8億33百万円(前期比26%減)となりました。

ZeeM事業

積極的なプロモーション活動と営業力強化により、事業規模の拡大を図る

当事業におきましては、「CBMS ZeeM」のライセンス販売の増加や品質の安定化により品質管理コストが減少したため、増収となり利益率におきましても大幅に改善いたしました。その結果、売上高は24億86百万円(前期比36%増)、営業損失は2億72百万円(前期は営業損失10億43百万円)となりました。

サポート&サービス事業

安定収益の確保と新規顧客の開拓で事業のさらなる拡大を推進

当事業におきましては、既存顧客からの受注増加と、ダイレクトサービス部門の売上が順調に推移したことにより増収増益となりました。その結果、売上高は29億4百万円(前期比9%増)、営業利益は1億92百万円(前期比20%増)となりました。

コンシューマサービス事業

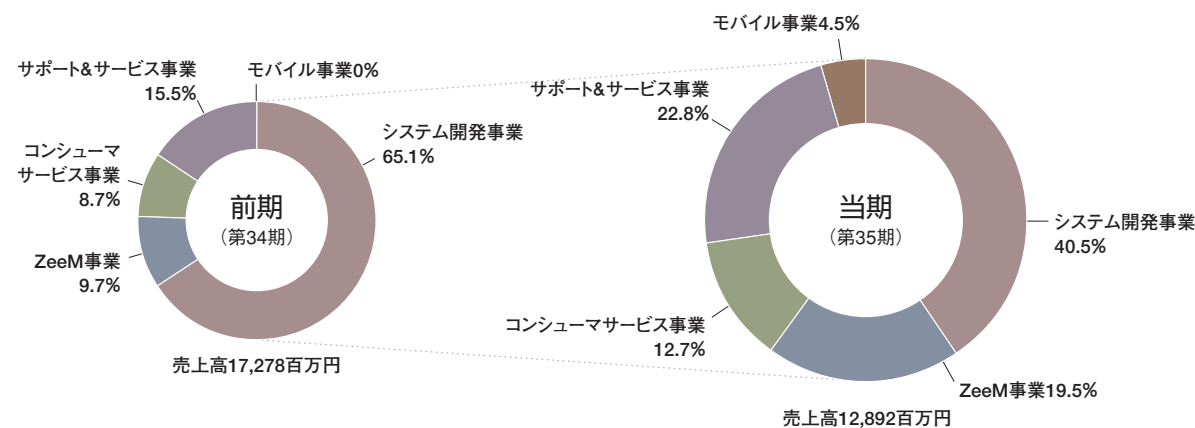
製品の多様化とネットサービスの確立で、市場シェアの向上を図る

当事業におきましては、「筆まめ」および今期より発売した「プロアトラス」においては、厳しい市場環境の中、販売動向に見合った出荷および販社への緻密な営業活動によりシェアを確保させました。また、新たにオンラインビジネスへ本格参入したことで構築費の発生はあったものの、売上・利益ともに増加となりました。その結果、売上高は16億18百万円(前期比7%増)、営業利益は2億28百万円(前期比27%増)となりました。

モバイル事業

クレオの既存事業との連携を強め、高付加価値サービスの提供を図る

当期より携帯サイトのコンテンツ開発・サービス、自社モバイルソリューションの開発・販売を目的とした「モバイル事業」を新規セグメントとして追加しております。その結果、売上高は5億76百万円、営業損失は28百万円となりました。



※前年同期実績を変更後のセグメントに組み替えたうえで算出しております。

連結貸借対照表 (単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	期別	当期(第35期) 2008年3月31日現在	前期(第34期) 2007年3月31日現在	比較増減額
資産の部				
流動資産		5,590	6,351	△761
固定資産		2,036	2,219	△183
有形固定資産		255	208	46
無形固定資産		969	1,154	△185
投資その他の資産		811	856	△44
資産合計		7,626	8,571	△944
負債の部				
流動負債		2,307	2,743	△435
固定負債		592	889	△296
負債合計		2,900	3,632	△731
純資産の部				
株主資本		4,676	4,871	△195
資本金		3,149	3,149	—
資本剰余金		3,759	3,761	△2
利益剰余金		△2,031	△1,900	△131
自己株式		△200	△138	△61
評価・換算差額等		△12	6	△19
少数株主持分		62	61	1
純資産合計		4,725	4,939	△213
負債純資産合計		7,626	8,571	△944

POINT 1

流動資産は、中央システム(株)の株式売却に伴う未収入金の減少、無形固定資産は、のれんおよびソフトウェアの償却により減少、流動負債は、未払金の支払により減少いたしました。

連結損益計算書 (単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	期別	当期(第35期) 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日	前期(第34期) 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	比較増減額
売上高		12,892	17,278	△4,385
営業利益(△は営業損失)		49	△638	688
経常利益(△は経常損失)		42	△691	734
特別利益		—	738	△738
特別損失		44	543	△499
税金等調整前当期純損失		1	496	495
少数株主利益又は少数株主損失(△)		1	△33	34
当期純損失		131	960	829

POINT 2

売上高は、システム開発事業において中央システム(株)の連結除外のため減少いたしました。営業利益は、ZeeM事業においてライセンス販売の増加、品質管理コストの減少により大幅に改善し、営業損失から営業利益に転じました。

連結キャッシュ・フロー (単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	期別	当期(第35期) 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日	前期(第34期) 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	比較増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー		681	1,066	△385
投資活動によるキャッシュ・フロー		550	△1,369	1,919
財務活動によるキャッシュ・フロー		△438	△141	△297
現金及び現金同等物の増減額		792	△443	1,235
現金及び現金同等物の期首残高		1,744	2,121	△376
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	67	△67
現金及び現金同等物の期末残高		2,537	1,744	792

POINT 3

営業キャッシュ・フローは、減価償却費、売掛金の減少により収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、中央システム(株)の株式売却により収入、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入返済、社債償還により支出となりました。

連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円、単位未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
2007年3月31日 残高	3,149	3,761	△1,900	△138	4,871	6	6	61	4,939
連結会計年度中の変動額									
当期純損失	—	—	△131	—	△131	—	—	—	△131
自己株式の取得	—	—	—	△69	△69	—	—	—	△69
自己株式の処分	—	△2	—	7	5	—	—	—	5
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△19	△19	1	△18
連結会計年度中の変動額合計	—	△2	△131	△61	△195	△19	△19	1	△213
2008年3月31日 残高	3,149	3,759	△2,031	△200	4,676	△12	△12	62	4,725

個別貸借対照表 (単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	期別	当期(第35期)	前期(第34期)	比較増減額
		2008年3月31日現在	2007年3月31日現在	
資産の部				
流動資産		4,511	5,169	△657
固定資産		2,186	2,435	△249
有形固定資産		188	141	47
無形固定資産		724	661	62
投資その他の資産		1,272	1,632	△359
資産合計		6,697	7,604	△906
負債の部				
流動負債		1,687	2,137	△450
固定負債		546	778	△231
負債合計		2,233	2,915	△682
純資産の部				
株主資本		4,476	4,682	△205
資本金		3,149	3,149	—
資本剰余金		3,759	3,761	△2
利益剰余金		△2,231	△2,090	△141
自己株式		△200	△138	△61
評価・換算差額等		△12	6	△19
純資産合計		4,463	4,688	△224
負債純資産合計		6,697	7,604	△906

個別損益計算書 (単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	期別	当期(第35期)	前期(第34期)	比較増減額
		自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日	自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	
売上高		9,750	10,502	△751
営業損失		111	823	712
経常損失		57	794	736
特別利益		—	700	△700
特別損失		73	616	△542
税引前当期純損失		131	710	579
当期純損失		141	1,054	913

個別株主資本等変動計算書 当期(第35期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日 単位:百万円、単位未満切り捨て)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	其他 資本剰余金	資本剰余金 合計	其他利益剰余金 繰越利益剰余金						利益剰余金 合計
2007年3月31日 残高	3,149	1,398	2,363	3,761	△2,090	△2,090	△138	4,682	6	6	4,688
事業年度中の変動額											
資本準備金取崩額	—	△610	610	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純損失	—	—	—	—	△141	△141	—	△141	—	—	△141
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△69	△69	—	—	△69
自己株式の処分	—	—	△2	△2	—	—	7	5	—	—	5
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△19	△19	△19
事業年度中の変動額合計	—	△610	608	△2	△141	△141	△61	△205	△19	△19	△224
2008年3月31日 残高	3,149	787	2,971	3,759	△2,231	△2,231	△200	4,476	△12	△12	4,463

会社の概況

会社概要 (2008年3月31日現在)

商号 株式会社クレオ
 本社所在地 東京都港区高輪三丁目19番22号
 設立 1974年3月
 従業員 685名(単体)
 事業所 東京、大阪、名古屋

役員 (2008年6月18日現在)

取締役会長 川畑種恭
 代表取締役社長 土屋淳一
 取締役 井上雅博
 取締役 大矢俊樹
 取締役 鈴木良之
 常勤監査役 小池博
 監査役 岩淵正紀
 監査役 谷舘龍二
 監査役 須江澄夫

株式情報

株式の状況 (2008年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	16,000,000株
発行済株式総数	9,497,319株
資本金	3,149,650千円
株主数	1,416名

大株主 (2008年3月31日現在)

株主名	持株数	
	千株	%
ヤフー株式会社	3,500	38.49
川畑種恭	268	2.82
従業員持株会	209	2.20
富士通	189	1.99
大谷武彦	188	1.98
竹田和平	140	1.47
日本証券金融(業務口)	136	1.43
椎名博	101	1.06
明治安田生命	100	1.05

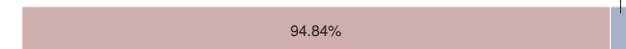
注1) 上表は、議決権を有する株主で作成しております。
 注2) 当社は、自己株式520千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

株式分布状況 (2008年3月31日現在)

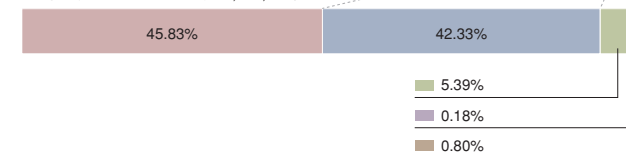
所有者別



株主数の割合 合計:1,416名



所有株式数の割合 合計:9,497,319株



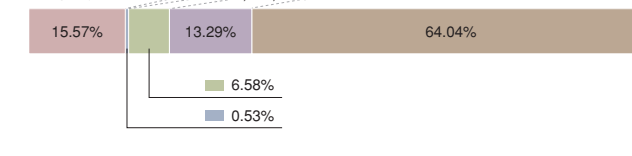
所有株式数別



株主数の割合 合計:1,416名



所有株式数の割合 合計:9,497,319株



株価・出来高の推移

